

上原会長を再選

事業計画
など承認

沖縄県もすく養殖業振興協議会総会

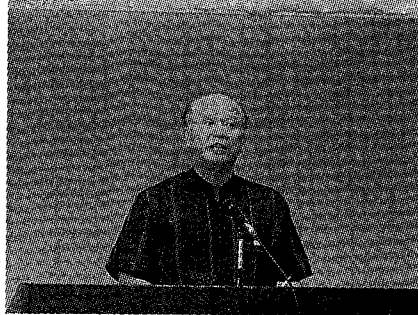
消費拡大、高品質に全力

【那覇】沖縄県もすく養殖業振興協議会は23日、那覇市内の水産会館で平成28年度総会を開き、27年度事業報告、28年度事業計画、予算案などの議案を承認した。任期満了に伴う役員・幹事改選では上原電一会長（JF 沖縄漁連会長）を再選した。

（一面参照）

総会で上原会長は28年 ため、高品質品の生産と 産のモスク生産動向につ 2万トの目標達成に全 いて触れ、「後半、生産 力を挙げて取り組んでい は盛り返したが最終的な きたい」などと強調し 生産量は目標の79%と 前年に続いて70%台にと どまった。29年産はマー ケットのニーズに 대응する 27年度は目標生産量達 成、品質向上に向けて調 査・指導に取り組むこと を置いた活動に力を入れ

養殖業振興協議会



活動方針などを説明する上原会長

をはじめとして、高品質モスク提供のための方策の徹底に努めることにしている。

ていく。 29年度産モスク漁期対策では本モスク2万ト、糸モスク1000トの生産目標を生産者の総意として策定、必達に向けて全力を挙げることを決めた。 品質対策では異物除去を通じて説明した。

総会後は講演・実演が行われ、「モスク株の今後の取り組み」「モスク種の静置保存について、沖縄県水産海洋技術センターの岩井憲司氏が講演を行うとともに、モスクの寒天培地作製を実演を